

スポット宣伝原稿（例） 《5野党選挙協力で合意》 2016年2月27日 西淀川区選対

ご町内の皆分さん、日本共産党です。夏の参議院選挙では34歳の若さあふれる女性政治家・わたなべ・わたなべ結がお世話になります。みなさんの平和・暮らし守れの願いを国会へ届ける、日本共産党とわたなべ結へのお力添えをどうかよろしくお願ひいたします。しばらくの間、この場をおかりしてお訴えをさせていただきます。どうかご協力をお願いいたします。

7月の参議院選挙では、日本の平和と安全をどう守るのが大きな争点の一つになります。安倍政権が昨年9月に強行した安保法制＝戦争法が、3月末に施行されようとしています。安保法制＝戦争法は、日本が攻撃もされてもいないのに、海外でアメリカと肩を並べて先制攻撃をしかけるための法律です。また、国連PKOに参加する自衛隊の任務を拡大し、武器使用の基準をゆるめる法律です。

安保法制＝戦争法は、憲法9条から大きく逸脱し、海外での武力行使を容認することによって、自衛隊員を危険にさらし、相手国に日本を攻撃する口実をあたえ、日本人をテロの標的にするきわめて危険な法律です。日本の防衛とはまったく関係がありません。一刻も早く廃止するほかありません。

ご町内のみなさん、2月19日、共産党、民主党、維新の党、社民党、生活の党の5つの野党党首が話し合い、安保法制＝戦争法は廃止し、集団的自衛権行使を容認した閣議決定は撤回する、安倍政権は打倒する、きたるべき国政選挙で、安倍政権・与党の自民党、公明党と、与党の補完勢力である「おおさか維新」を少数においこむ、そのために選挙協力をおこなうことなど4項目で合意しました。TBSの報道番組「ニュース23（ツ－スリー）」のキャスターは、「これは、おおげさでなく、戦後政治史の一つの転機になる」と述べました。

政策も立場も違う5つの野党が団結したのは、何よりも「戦争はあかん」「憲法を守れ」という多くの国民の声にこたえて、憲法違反の安保法制＝戦争法をなんとしても廃止すること、憲法をないがしろにする安倍政権を倒して、まっとうな政治に戻すという大義にたったのことで

です。日本共産党は、昨年9月に安保法制＝戦争法が強行された直後から、戦争法は廃止しよう、野党は力を合わせようと提案してきました。それだけに今回、5つの野党が話し合っ

て、戦争法廃止をめざして選挙協力をまで踏み込んだ合意をしたことを心から歓迎し、それが実現するように全力をつくす決意です。ご町内のみなさん、安倍政権の暴走政治から、国民の暮らし、日本の平和と安全を守るために大切なことが二つあります。一つは、安倍はやめろ、野党は力をあわせてがんばれと、国民の声をもっと大きく広げていくことです。いくら国会で多数の議席をもっている、国民の世論が立ちふさがれば何もできません。そのためにもぜひ、戦争法廃止をめざす2000万署名にご協力をお願いいたします。全国で2000万人、西淀川区では3万人から署名を集めようととりくんでおり、現在全国で300万人以上、西淀川区でも約1万2千人の方からご協力をいただいています。まだ署名されておられない方はぜひともご協力をお願いいたします。

いまひとつは、日本共産党の議席を大きく増やすことです。日本共産党は、戦争法廃止でも暮らしを守る問題でも、もっとも確かな足場をもって安倍暴走政治と対決し、明確な対案を示してきました。また、意見の違う野党とも共同するために粘り強い努力をしてきました。安倍政権を倒した後の政権構想も具体的に示しています。この党が大きく伸びれば日本の政治は必ず変わります。

7月の参議院選挙での選挙協力については、定数1の選挙区で話し合いが始まっています。定数4の大阪では選挙協力は必要ありません。安倍政権与党の自民・公明、そしてその補完勢力、大阪に本拠地をおく「おおさか維新」を少数に追い込むためにも、比例でも選挙区でも大きなご支援を日本共産党に寄せていただきますよう心からお願い申し上げます。

3月18日金曜日、6時30分、日本共産党は、志位和夫委員長を迎え、大阪市中央体育館で演説会を開きます。憲法学者の小林節さん、元大阪市長の平松邦夫さんがゲストスピーチを行います。西淀川区からは直通の貸切バスを運行します。お誘い合わせてお越し下さい。

大きなマイクでお騒がせいたしました。これでこの場での訴えを終わらせていただきます。ご協力ありがとうございました。（1800字 約7～8分）